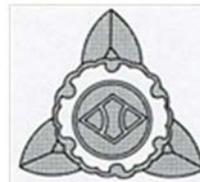


小須戸小学校だより

NO. 6

令和3年11月19日(金) 発行



小須戸小学校 教育目標

よく考え助け合う子ども

前期「児童アンケート」「保護者アンケート」の結果について

当校では、よりよい学校運営を目指して「児童アンケート」「保護者アンケート」を実施しております。ご多用にかかわらず、ご協力いただきましてありがとうございました。前期の結果について、お知らせいたします。

数値は、「あてはまる」と「だいたいあてはまる」を合計した肯定的評価で表しています。

【児童アンケート】

学校について		
1	学校生活は楽しい	86%
2	自分の学級が好きだ	86%
3	学校が好きだ	82%

生活について		
4	学校が大切にしている小須戸っ子マインド「尊重」「責任」「安全」を知っている	97%
5	タブレットのきまりを守っている	96%
6	誰でも安心できるクラスをつくるために、人をからかったりいやな気持ちにしたりしないように気をつけて生活している	90%
7	小須戸っ子マインド「安全」を意識して生活できた	89%
8	自分のことだけでなくみんなのことを考えて行動している	86%
9	小須戸っ子マインド「責任」を意識して生活できた	86%
10	自分と考えや意見が違う人とでも、協力して活動している	86%
11	小須戸っ子マインド「尊重」を意識して生活できた	85%
12	学校では、自分で考えて、よりよい方法を選択して行動できた	81%
13	失敗したり、まちがったりした時に、自分がどのように行動したらよいか考えられる	79%
14	学校で育てる3つの力「自立」（じりつ）「協働」（きょうどう）「創造」（そうぞう）を知っている	45%

授業について		
15	勉強が分かるようになりたい	94%
16	学習が必要な時に、タブレットを使うことができた	91%
17	授業が「分かる」と感じる	85%
18	授業では、進んで学習に取り組むことができた	85%
19	自分で学び方を選んだときの方がやる気が出る	85%
20	学習するときは、タブレットを進んで使いたい	83%
21	タブレットを使うと、使わない時よりも勉強が「楽しい」と感じる	83%
22	問題や課題をやるとき、一つのやり方ではなく、いろいろな方法があった方がやりやすい	82%
23	授業では、自分なりに勉強の仕方を工夫している	79%
24	宿題や自学について、学校のタブレットを持ち帰るようになってやる気が出た	78%
25	授業は「楽しい」と感じる	78%
26	タブレットを使うと、使わない時よりも学習内容が「よく分かる」と感じる	75%
27	勉強が好きだ	69%
28	先生が授業で全体に説明している時、よく分からなくなる時がある	52%

【保護者アンケート】

学校について		
1	学校の教職員は、一人一人の子どもを大切にしている	89%
2	学校は、ICTを活用した授業づくりに取り組んでいる	89%
3	学校は、子どもが主体的に学習できる力を育むための授業改善に取り組んでいる	86%
4	学校の育てる3つの力「自立」「協働」「創造」を理解している	83%
5	子どもに望ましい行動を教える小須戸っ子マインド「尊重」「責任」「安全」を知っている	79%

子どもの成長について		
6	お子さんと一緒にタブレットのきまりを確認した	97%
7	お子さんは、家庭学習が必要な時に、タブレットを使っている	82%
8	学校は、全ての児童が学びやすい方法や手立てを選択できるような授業づくりを行っている	82%
9	お子さんは、進んで学習に取り組んでいる。	72%
10	子どもは、家庭で約束した使用時間を守っている	60%

【子どもの成長について】

- ・自分の事は言われなくても進んで出来るようになりました。
- ・自分で学習内容を決めて進んでできるようになりました。
- ・タブレットを使って学習することで、学習の幅が広がりました。
- ・自分に自信が持てるようになり、発言や行動が積極的になってきました。
- ・分からないことがあったも、すぐあきらめないで、まずもう一度自分でよく考えるようになりました。
- ・早寝早起きを心掛けるようになり、朝ご飯を食べることが増えました。
- ・自己管理能力が高くなりました。
- ・お手伝いを進んでしてくれるようになりました。
- ・あいさつをしっかりするようになりました。
- ・相手のことを思いやることができるようになりました。

【学校への要望等】

- ・学力が中級程度のいわゆる「埋もれやすい」子どもにも目を配って欲しいです。
- ・みんな同じがよい、という認識も必要だと思いますが、人はみんなそれぞれ違うんだよ、ということも教えて欲しいです。多様性のことについてなども教えて欲しいです。
- ・子どもの体力が落ちているのを感じているので、体を動かすような活動を増やしてほしいです。
- ・ゲームやYouTubeなどの魅力は大きく、自由にすると見過ぎてしまうので、大人が管理している部分があります。自分でも考えてできるように、メディアの弊害などについても教えて頂けると助かります。
- ・HPに記載のメールアドレス(e512kosudo-01@city-niigata.ed.jp)は機能しているのでしょうか？

UDLに基づく授業改革と小須戸っ子マインドによる生徒指導改革を通して、一人一人の違いや自分の強みを生かして、自分に合った学び方を選択できるように指導しています。教師も子どもも、TeachingからLearningへの意識改革を図り、子ども一人一人が主体的に学ぶ個別最適な学びをますます推進していきます。

タブレットを日常的に使い始めたからこそ、タブレットの長時間の使用やタブレットの誤った使い方も見られますが、こういった失敗や間違いを「正しい行動を学ぶチャンスだ」と捉え、全教職員で望ましい行動を具体的に教え、認め、強化していきます。今後も学校は、家庭や地域と一緒にあって、子どもの成長を支援していきたいと考えています。

6月に欠席連絡用のメールアドレスは、安心メールに切り替えられました。学校HPの遅刻・欠席・早退連絡支援システムをご活用ください。

アンケートのご協力ありがとうございました。

学校の取組に対しての理解や励ましのお言葉を多数の方からいただきましたことを励みにするとともに、いただきました貴重なご意見をもとに、学校として更なる改善に取り組んでまいります。

具体的な取組の様子については、裏面をご覧ください

自分の『学び』や『生活』を自分で舵取りする子どもを目指して



タブレットを活用し、自分の学びを舵取り

自立

自ら考え
よりよい方法を選択し
行動する子ども

協働

協働して
目標を達成したり
課題を解決したりする子ども

創造

創意工夫しながら
他者や地域に貢献する子ども



運動会の入場行進「手作りの紅白旗を振って！」

小須戸小学校で育てる3つの力



- タブレットを有効に活用しながら、自分で学び方を選択し、友達と協働しながら、主体的に学習に取り組むことができるようになってきました。
- 「自分で学び方を選んだときの方がやる気が出る」について、85%の児童が肯定的回答をしています。
- 保護者アンケートの自由記述から、「自分で学習内容を決めて進んでできるようになった」「目標に向かって計画的に学習している」「タブレットを使いこなしていることに驚いた」などのお声をいただいで

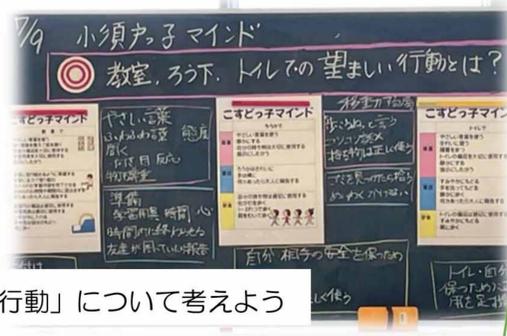
- 今年の運動会は、開会セレモニーで「入場パレード」を行いました。各学級で、入場の仕方を相談し、今年しかない思い出に残る運動会を創りました。
- 6年生は、運動会の開会セレモニーを盛り上げる「ダンス」を披露しました。「やっぱり6年生はかっこいい」「6年生のようになりたい」など全校児童のあこがれ

- 小学校と中学校が連携し、子どもたちの生きる力を推進しています。春の「5・6年食育フォーラム」、秋の「小中合同防災訓練」を通して、小須戸を愛し、地域に貢献したいと自ら行動できる子どもを育てています。
- 自分の地区の顔合せをしておくことで、災害時の迅速な安否確認につなげたいと18支部から、8地区へと小中統一した組織改編を行いました。今後も小・中のつながりを深めていきます。

- 小須戸小学校では、望ましい行動である「小須戸っ子マインド」を意識して生活しています。小須戸っ子マインドをみんなが守ることで、けんかやけがが減ってきています。
- 保護者アンケートの自由記述から、「自分で起き、言われなくても間に合う時間に登校できるようになった」「自主的に考え、行動するようになった」「自分の行動を後から振り返ることができるようになってきた」などの声をいただいています。
- タブレットの健康的な使い方や情報モラルについても、小須戸っ子マインドを守って正しい選択をしながら利用していくことを指導してい



廊下での「望ましい行動」について考えよう



食育フォーラム



小中合同防災訓練

